

## 令和4年度事業報告

2022 年の世界全体の IAESTE 交換学生数は、対前年 17%増 1,458 名となり、COVID-19 感染拡大直前(2019 年)の学生数の 46%まで回復しました。IAESTE A.s.b.l は、Bilateral Exchange Agreement による学生の交換や年間を通したオファー交換(COBE & First come First Serve(FCFS) Exchange systems)により交換活動の促進を図り、2022 年に交換されたオファーのうち、COBE タイプが22%、FCFS タイプが12%を占めました。このような努力の一方で、会員各国の状況は依然として厳しく、会員1減、準会員1減、協力団体1増となり、現在の委員会数は 81 となっています。また、2022 年に学生の派遣だけ、受け入れだけを行った会員がそれぞれ10委員会、3委員会であった他、14の委員会の派遣・受入数が共にゼロでした。

入国制限が徐々に緩和された日本では、受入学生 17 名(内リザーブド 1 名)、派遣学生 23 名となり、共に増加傾向にあるものの、目標数には遠く達しておりません。派遣学生数についてはドイツが自国の事情から全ての受入れを急遽中止したことが大きく影響しました。また、企業が研修生受け入れに依然慎重であったことや、リモートワークの普及に伴い研修生受け入れが困難と判断したことから、受入のほとんどが大学の研究所および研究室となりました。

「派遣学生数 150 名の実現」を目標とするワーキング・グループ(リーダー:橋本正洋常務理事)は今年度、加藤浩徳理事がリーダーを引き継ぎ、現状分析と今年度の方策の検討を行いました。ワーキング・グループの主な着眼点は、IAESTE の研修の意義の再確認、及びこれを広く知らしめる広報にあり、これらを重要課題として次年度以降も活動を継続します。一方、今年度の学生委員の活動については、COVID-19 感染対策の制約という状況下において学生委員がイベントなどを実施したことは一つの成果であり、今後に期待するところです。

### 目標達成状況

	令和4年度目標	令和4年度実績	目標達成率
選考試験応募学生数	75	27	36 %
派遣学生数	65	16	25 %
受入学生数	75	23	31 %

  

	令和5年度目標	令和5年度実績	目標達成率
選考試験応募学生数	75	42	56 %
派遣学生数	65	( 30 )	( 46 % )
受入学生数	75	( 34 )	( 45 % )

※ リザーブドオファーを除く / ( )内は未確定値

## 1. 選考派遣事業

- (1) 令和4年度派遣候補生追加募集                      令和4年4月5日(火)～4月30日(土)  
昨年度に続き、年度内研修を希望する学生を対象とする追加募集を行い、12名の応募学生のうち1名の研修が実現しました。
- (2) 令和4年度派遣準備会・壮行会  
COVID-19感染の影響により、中止となりました。
- (3) 令和5年度派遣候補生募集                      令和4年9月1日(木)～10月20日(木)  
東京地区学生委員による3回の説明会を開催し、全てweb会議形式としました。  
日時: 6月4日(土) 14:00～16:00  
7月2日(土) 14:00～16:00  
9月3日(土) 14:00～16:00
- (4) 令和5年度派遣候補生選考面接                      令和4年11月  
昨年同様、会員大学ごとにweb会議形式による選考を実施しました。
- (5) 令和4年度派遣報告会  
派遣候補生が研修実施の前にIAESTE研修について理解を深める機会とすることを趣旨とし、併せて引受機関のご担当者、将来の研修候補生に参加して頂き、当協会の活動への理解を深めて頂くことを目的として開催しました。  
日時: 12月3日(土) 13:30～16:00  
例年であればこの後開催される「IAESTEフェローズの集い」は今年度も中止となりました。

## 2. 来日研修生受入事業

### (1) Fits (For IAESTEers and trainees)

日本への研修の可能性がある学生に日本への心理的距離感を縮めてもらうこと、日本の学生委員が自文化発信能力を鍛えることを趣旨として自己紹介・リクリエーションを行いました。

第1回: 2022年6月18日(土) 19:00～20:00、zoomにて

第2回: 2022年8月16日(土) 19:00～20:00、zoomにて

### (2) Summer Program

来日した研修生が日本の文化に直に触れて親しめるようにするため、日本文化に関連するゲーム等のレクリエーションを行いました。

第1回: 2022年7月10日(日) 15:00～18:00、zoomにて

第2回: 2022年7月17日(日) 15:00～18:00、zoomにて

### (3) 研修生との交流イベント

来日研修生と日本の学生委員との交流を深めるため、各地を訪れて散策、レクリエーション、食事、及び歓談の機会を設けました。

第1回: 2022年9月17日(土)、浅草にて

第2回: 2022年10月23日(日)、新宿にて

第3回: 2022年12月4日(日)、新宿にて Farewell Party

### (4) Contact Person(CP、来日研修生のケアを担当する学生委員)

CPを募集し、来日研修生に関して継続的に活動を行いました。

## 3. 国際連携事業

### (1) 76th Annual Conference 2023

2023年1月20日(金)～26日  
(木)、ポーランド ワルシャワ

COVID-19感染拡大の影響で、今年のweb会議形式での開催に続き、hybrid（＝対面＋web）開催となり、45カ国が対面で、21カ国がweb参加、2カ国が両方にて出席しました。

当協会はweb参加し、事務局長、インターンシップ担当者の他、交換補助のため参加した派遣経験学生3名が出席しました。web参加の不利を補うため Annual Conference 開始前から各国委員会と積極的に連絡を取り、14ヶ国との間で38件のオファーを交換しました。

並行して開催された General Conference 2023 には、重要議題である規約類改定案と年間スケジュール見直し案が諮られ、修正を経て承認されました。

## 4. 総会・理事会の開催

(1) 第41回理事会	令和4年	4月24日(日)	web会議
(2) 第11回定時総会	令和4年	5月29日(日)	web会議
(3) 第42回理事会	令和4年	5月29日(日)	web会議
(4) 第43回理事会	令和4年	10月16日(日)	web会議
(5) 第44回理事会	令和5年	3月26日(日)	web会議

以上のとおりですが、令和4年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しません。

令和5年4月

一般社団法人日本国際学生技術研修協会

(別表1) 令和4年度 研修生交換実績

国・地域	日本からの 派遣	日本への 受入	研 修 分 野	日本からの 派遣	日本への 受入
オープン・オファーによる交換					
Austria	2	3	Agriculture、General	2	1
Bosnia and Herzegovina	1	1	Aerospace, Aeronautical and Astronautical/Space Engineering.	1	1
Czech Republic	3		Architecture	1	1
Germany	1	10	Computer and Information Science	1	2
Macedonia	1	1	Bioengineering and Biomedical Engineering.	3	4
Poland	3	3	Biology/Biological Sciences, General.		1
Portugal	1	1	Bio-magnetism/Bio-engineering for the biomedical applications		1
Serbia	1	1	Biochemistry.		1
Spain	1		Biotechnology		1
Switzerland	1		Chemistry,Material Science,and Chemical Engineering		
Tunisia	1	1	City/Urban, Community and Regional Planning.		1
Turkey		2	Civil Engineering	1	
			Data Science, General.	1	
			Engineering, Other		1
			Electrical and Electronics Engineering		1
			Environmental Chemistry	1	
			Food Science	1	
			Mechanical Engineering	1	4
			Mathematics, General.		1
			Narval architecture and Marin Engineering	1	
			Pharmacology.		1
			Structual Engineering	1	
			Theoretical and Mathematical Physics.		1
			Physics	1	
小 計			合 計	16	23
注)ドイツへの派遣生が少ないのは年度途中に受入を急遽中止したため					
リザーブド・オファー※による交換					
UAE	1				
小 計					
合 計					
※：受入先が、特定の学生を研修生として 受入れることを予め決定しているオファー					

(別表2) 令和4年度 来日研修生受入実績

受 入 大 学 ・ 法 人	部署	派遣国
東北大学大学院工学研究科	流体科学研究所	Turkey
東北大学大学院工学研究科	応用物理学専攻	Turkey
東北大学大学院工学研究科	工学研究科	Austria
東北大学大学院工学研究科	都市建築学専攻	Germany
東北大学大学院工学研究科	電子情報システム・応物系	Poland
東京大学大学院新領域創成科学	新領域創成科学研究科	Germany
東京大学大学院新領域創成科学	新領域創成科学研究科	Germany
東京大学 大学院工学系研究科	建築学専攻	Serbia
東京大学 大学院工学系研究科	システム創成学専攻	Germany
東京大学 大学院工学系研究科	システム創成学専攻	Germany
東京大学 大学院工学系研究科	社会基盤専攻	Germany
東京都立大学	システムデザイン研究科	Poland
東京都立大学	理学研究科生命科学専攻	Austria
東京理科大学	薬学部	Bosnia& Herzegovina
東京理科大学	工学部機械工学科	Tunisia
東京理科大学	工学部機械工学科	Portugal
東京理科大学	工学部機械工学科	Germany
大阪工業大学	情報学部ネットワークデザイン学科	Poland
九州大学	情報学部門	Macedonia
九州大学	工学研究院機械工学部門	Austria
九州大学	農学研究員・生命機能科学部門	Germany
九州大学	農学研究員・生命機能科学部門	Germany
大 学 計		22
株式会社KDDI総合研究所	ロボティクスグループ	Germany
大 学 以 外 計		1
合 計		23

(別表3) 令和4年度 派遣学生の所属・派遣先

大 学	( 研究科・学部 ) 専攻・学科	学年	派遣先
大学会員 (学部)			
大阪大学	(工学部) 地球総合工学科	B3	チュニジア
九州大学	(工学部) 電気情報工学科	B3	オーストリア
東京工業大学	(環境・社会理工学院) 土木・環境工学系	B3	セルビア
東京都市大学	(情報工学部) 知能情報工学科	B3	チェコ
大学会員 (大学院)			
※ 大阪大学大学院	(理学研究科) 物理学専攻	D2	UAE
九州大学大学院	(生物資源環境科学府) 環境農学	M1	ドイツ
九州大学大学院	(生物資源環境科学府) 生命機能科学専攻	M2	ポルトガル
京都大学大学院	(工学研究科) 分子工学専攻	M1	ポーランド
慶應義塾大学大学院	(理工学部) 情報工学科	M1	オーストリア
慶應義塾大学大学院	(理工学研究科) 開放環境科学専攻	M2	マケドニア
東京大学大学院	(工学系研究科) バイオエンジニアリング専攻	M1	ポーランド
東京工業大学大学院	(物質理工学院 材料系) 材料コース	M2	オーストリア
東京農工大学大学院	(都市環境科学研究科) 都市基盤環境学域	M2	スペイン
東京農工大学大学院	(工学府) 機械システム工学専攻	M1	チェコ
早稲田大学大学院	(創造理工学研究科) 建築学専攻	M2	スイス
大学会員以外			
東京工科大学	コンピュータサイエンス学部	B4	チェコ
筑波大学大学院	理工情報生命学術院システム情報工学研究群	D1	ポーランド

※ リザーブド・オファーによる交換 (派遣)

(別表4) 事業の推移（平成25年度～令和4年度）

	平成25 2013	平成26 2014	平成27 2015	平成28 2016	平成29 2017	平成30 2018	令和1 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023
大学会員数	25	24	20	19	19	19	18	18	17	17	
個人会員数	125	129	124	114	113	119	119	117	117	114	
賛助会員数	16	15	12	9	9	10	9	7	7	7	
事業協力会員数	19	20	21	17	20	19	19	19	11	18	
うち受入実施会員数	16	19	21	17	20	17	19	1	0	8	
学生会員数	226	243	233	217	183	178	94	48	21		
選考試験応募学生数	92	73	71	48	51	51	62	62	45	27	42
選考試験認定学生数	70	72	67	39	46	45	53	49	39	26	41
派遣学生数	52	46	49	45	26	38	44	0	12	17	<u>30</u>
うちリザーブド・オフアー	0	3	1	3	0	3	0	0	0	1	
受入学生数	60	66	65	51	60	49	59	1	0	23	<u>34</u>
うちリザーブド・オフアー	4	5	6	6	6	6	9	0	0	0	
(単位:千円)											
正会員(大学)会費収入	5,000	5,000	7,800	7,600	7,600	7,600	7,200	7,200	6,800	6,800	
賛助会員会費収入	1,450	1,350	1,150	850	850	850	800	700	700	600	
交換手数料収入	4,618	5,450	5,060	3,370	3,810	4,590	2,900	1,475	1,300	2,025	
経常収益計	14,341	15,645	17,515	14,876	14,860	16,837	14,027	10,302	9,633	10,502	
経常費用計	17,524	15,291	13,777	12,680	14,224	13,129	13,855	11,467	9,887	10,372	
当期経常増減額	△ 3,183	354	3,738	2,196	636	3,709	172	△ 1,165	△ 254	129	
正味財産期末残高	7,836	8,190	11,928	14,124	14,760	18,469	18,641	17,476	17,222	17,351	

記載の金額は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

下線の数字は未確定です。